



平成25年4月15日

- 2〜3面 名子の遺跡発掘
- 4〜5面 松川町中央公民館
改築整備計画策定・情報
- 6面 スポーツ・青年の家だより
- 7面 なかまたち・すぽっと
俳句・短歌
- 8面 視点・声・べんべん草

まつかわ百景

⑥9

「大草履」(諏訪形)

厄病神も退散する伝統の大草履。



諏訪形自治会には、昔から大草履づくりの伝統行事があります。行事の起源は定かではありませんが、上片桐村誌や郷土研究されている皆さんの発表された資料、長老の皆さんの言い伝えなど総合すると、春は八十八夜、夏は250日に自治会の境に厄神除けのお札を立て、厄病神の進入を防いだとされています。

諏訪形では八十八夜の日に当時の青年会の皆さんが、藁わらを持ち寄って大草履を作り、自治会の東西の境に吊しました。

外から来た厄病神が、この様な大草履を履く巨人が居ることを知り恐れて進入を防げたという説と、江戸時代に起きた天明の大飢饉の折、大草履のお陰で伝染病が防げたとも言われていることから「無病息災と平穏無事」を願う厄除けの行事であったと思います。

今は高齢者クラブが昭和54年から引継いで毎年2月15日に

主張

諏訪形自治会の大草履づくり

行っておりません。復活後の初めは参考となる資料もなく、大草履づくりを体験した皆さんでも、戦前戦後を通じ30年余の空白があり、記憶を辿りながら、試行錯誤して挑戦完成しました。草履は2つ作るが、

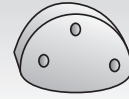
一足ということではなく、左右別々に作る、作り手によって大きさも形も異なるが、縦1メートル横幅80センチで出来上がりは円型に近い。男性が作り手で女性が藁を手渡し補助する、他に鼻緒を作る組、注連縄を作る組があり、全員参加で作ります。

出来上がった大草履を床の間に飾り今年は去年より大きく立派に出来たと自画自賛し、清酒など供えて神事を行い、東西の両境の所定の場所に安置して終了です。

終わりに、この地で生まれ育った素朴な伝統行事をいつまでも大切にして後世に残したいと思っています。

諏訪形 奥村周次

おもしろい 発掘を見た！



調査が終わると保育園建設が始まる

名子の統合保育園建設予定地では、今年1月から約3ヶ月に渡り遺跡の発掘調査が行われてきました。地下に埋蔵する文化財が壊されてしまうおそれがあるため、建設工事が始まる前に調査をし、記録して残すためです。9000平米ほどの広い範囲が調査され、弥生時代や平安時代の住居跡などが発掘されました。

遺跡立ち入り OKの日！

3月24日には一般公開が行われ、80人ほどの皆さんが発掘現場を訪れました。そして、発掘現場の指揮をとる松川町資料館の酒井幸則さんに、調査でわかったことや、出土したものについて説明してもらいました。
— 普段なかなか立ち入ることのできない遺跡の発掘現場に

一般公開までに、弥生時代住居跡が1件と、平安時代住居跡や建物跡が9件確認されていました。
ほとんどが平安時代後期の住居跡で、半地下式の堅穴住居にカマドがあるつくりです。このころは、原始のような移動生活ではなく、一つの土地に定着して暮らすようになり、松川町に直接結びつく人々の遺産だということで、さらに興味がわきました。
たぐさんの器（うつわ）が出土しましたが、ほとんどが素焼きの土器で、この地方の

松川町のルーツを語る遺産



出土した土器など

足を踏み入れるだけでもワクワクする体験でしたが、一つひとつ説明を聞き、同じ郷土に住んでいた1000年前の人々の生活にふれ、感動の時間となりました。



説明を熱心に聞く参加者

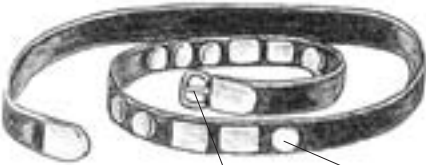
飯田下伊那 初の発見！

古代の官人（役人）は、公式衣装の朝服（ちようふく）を着るときに牛皮製の帯をしており、その帯を「革帯（かくたい）」というそうです。こ

人々が土器の生活から抜け出すのはもう少し後のことだそうです。
しかし、当時美濃地方で生産された薄くて硬い陶器が移入され、わずかにそれらも見られました。またこの陶器を真似て土器をつくっていた様子も、出土した土器と陶器の形からうかがうことができませんでした。



想像するから 名子の遺跡



革帯(碧玉巡方丸鞆) 鉸具 円鞆
(資料 日本歴史図録より)



出土した円鞆 (まるとも)

能性を考え想像を膨らませることが歴史のおもしろさでもあると資料館の酒井さんのお話があり、まさにそんな楽しい思いをすることができた貴重な時間となり

の帯には、金・銀・石製などの飾りが付けられており、この飾りのことは「袴(か)」と言うそうです。このうち、石の円形のを「円鞆(まるとも)」というのですが、完全な円形のものではなく、カマボコのような上円下方のものを今は円鞆と呼んでいるそうです。

この円鞆が、今回の調査で出土し、飯田下伊那では初めての発見となりました。

また帯そのものは今のベルトと同じように「鉸具(かこ)」と呼ばれる留め金具(バックル)が付いたもので、その部分も発見されています。

ちなみに、鉸具はこれまでに飯田などでも見つかったおり、「石の袴」は伊那では見つかったというそうです。

古代名子郷に

役人が付けた帯の飾りが見つかったことから、当時この帯をつけた役人がこの地域にいたことが想像されます。このことは、源氏の一族が名子の地に土着したこと、すぐ近くを官道東山道が通っていることなど、古代の名子郷に関する問題がクローズアップされる発見となりました。

遺跡をヒントに 古代に触れる

調査された遺跡の時代、その当時の様子を自分の目で見た人はいるわけもなく、本当のこと、100%正確なことは誰にもわかりません。しかし、調査することでいろいろな可能性を想像を膨らませることが歴史のおもしろさでもあると資料館の酒井さんのお話があり、まさにそんな楽しい思いをすることができた貴重な時間となり



住居跡を囲むほど大勢の参加者でした

ました。

しかし、そんな思いができたのは、毎日地道な調査をされてきた酒井さんをはじめ現場スタッフのみなさんのお陰でもあります。

次に遺跡発掘現場を見ることができるとはいいつになるかはわかりませんが、もしそんな機会があったら、ぜひお見逃しなく！

松川町中央公民館 改築整備計画策定

はじめに

昭和46年、福祉センターの名称で、現在の中央公民館が建設されました。現在の建物の他に、今、図書館・資料館がある場所には講堂があり、また当時は土足でした。

当町では、集会活動をはじめとし、様々な社会教育活動が、この拠点で展開されてきました。

平成20年度、老朽化が進んでいる中央公民館の耐震診断を行ったところ、構造耐震判定指標の安全基準を下回る結果となりました。

そこで平成23年度、町は、中央公民館整備方針検討委員会を立ち上げ、改築するか、耐震補強とするかを諮問し、委員会での度重なる検討・審議の結果、改築の方向で答申がされました。

平成24年度に入り、改築の方向を受け、広く住民の皆さんの意見を反映するために、7月から中央公民館建設委員会、中央公民館づくりワーク

ショップ委員会の2つの委員会を立ち上げ、中央公民館改築整備計画を作成、2月26日

に、中央公民館改築整備計画案が、建設委員会より町へ提案され、町では、この整備計画を受け、策定いたしました。

中央公民館改築整備計画の概要

【一部抜粋】

1、目的

「松川町における生涯学習の中核的な機関として設置されている中央公民館の改築にあたり、利用者である町民の声を設計に十分反映すること

を目的とする。」としています。

すなわち、今後決定される設計業者が、この整備計画に基づき設計を行うためのものであることを意味します。

2、計画策定の経過

策定までの経過は表1の

とおりです。

3、基本方針

基本方針には、ワークショップ委員会と建設委員会での検討・協議した3つのキャッチフレーズと、キャッチフレーズに込められた思いを据えました。

表-1 情報収集及び計画策定の経過

時期	方法等	内容
H24.7月 ~8月	アンケート 意見箱の設置 公民館報等での募集	○新しい中央公民館づくりへの意見募集 ・課題の抽出 ・要望や意見の収集
H24.7.24	第1回建設委員会	○協議・検討内容の確認
H24.8.6	情報収集会議	○利用団体代表者及び一般公募 ○ワークショップ委員会 ○現状の課題と新しい公民館への注文事項の抽出 ・現状の課題の抽出 ・新しい公民館に求める事柄の提案
H24.8	アンケート等	○公民館に集まる子どもたちから情報収集…職員による聞き取り調査 ○新成人からの情報収集…成人式実行委員会 ○若いお母さんからの情報…サークル等の参加者より
H24.8.30	第1回 ワークショップ委員会	○テーマ『未来の公民館を考える』 ・キャッチフレーズの作成=基本方針の設定
H24.9.21	第2回 ワークショップ委員会	○テーマ『使い方を考える』 ・先進事例紹介 ・行いたい活動と必要な規模について検討 ・現在の公民館の場所に建て替えることを確認
H24.10.19	第3回 ワークショップ委員会	○テーマ『デザインを考える』 ・具体的に配置をしながら、アイデアのまとめ ・使い方による空間構成の工夫
H24.10.12	第2回建設委員会	○進捗状況の確認 ○ワークショップ委員会での検討 ・整理内容についての意見・要望、提言
H24.11.8	第4回 ワークショップ委員会	○整備計画素案の確認
H24.11.16	第3回建設委員会	○視察、整備計画素案の協議
H24.12.3	第4回建設委員会	○整備計画素案の協議→整備計画案
H24.12.20 ~H25.1.18	パブリックコメント	○整備計画案の意見募集
H25.2.15	第5回建設委員会	○意見募集結果の協議
H25.2.26	町へ整備計画案を提出	○整備計画案を町へ提出→整備計画策定

新しい中央公民館のキャッチフレーズとキャッチフレーズに込められた思い

◆集・緑・楽・学!!の館

- ・いろんな人が集い、人の和が生まれる
- ・内部からも光や緑、風などの自然を感じる事が出来る
- ・楽しく、自ら学ぶ

◆夢の拠点 ひと・まち・みらいを描く パステルカラー(※)の公民館

- ~世代を超えて交流できる 笑顔あふれる多目的空間~
- ・年齢や障がいの有無に関係なく、すべての人々が優しく迎えられる場所である
- ・用途に応じて、臨機応変に対応できる

(※)パステルカラー…いろいろな人が集まり、思いや夢がたくさんある様子。

◆集い交わり 語らい学ぶ みんなの公民館

- ・優しさのある空間…使いやすさ、温かい思いやりの心が生まれる空間

表-2 松川町中央公民館の将来イメージ

基本方針の項目	具体的な内容	
みんなの公民館	○世代を超えたいろいろな人たちが自然に、気軽に集まる『場』	
夢や想いの実現の場	○思いや夢がたくさんある。町民にとって違和感のない造り	
	集う	○世代やしらがらみを超えて交流できる
	学ぶ	○生涯学習、未来を描く。活動する。学ぶ
結ぶ	○みんながつながり、人の和が出来る。出会いの場	
人にやさしい	○使いやすい、使う人にやさしい。障がい者にもやさしい。 ○きれい、清潔 ○楽しく、快適に	
自然を感じる	○内も外も緑を感じる ○光を感じる、明るい ○自然の風の通り道	
情報の発信源	○住民サービスの拠点 ○ボランティアの発信拠点	
ひとづくり	○暖かい思いやりの心が生まれる。 ○住民の活力を高める	
まちづくり	○まちをつくる	

4、改築場所については、現在の場所とします。

5、チャンネル・ユー併設について

中央公民館と同じ昭和46年に建設されたチャンネル・ユーから併設の要望があり、ワークショップ委員会並びに建設委員会でも、賛否両論あるなど、白熱した論議が繰り広げられました。
また、12月から1月まで行っ

たパブリックコメント(意見公募)の中でも、「なぜ、中央公民館に入るのか」という意見が出されました。

建設委員会では、

○町はチャンネル・ユーと、

災害時の緊急地震速報や防災無線連動等災害時の連携をしていること。

したがって、東海地震等の大震災などでチャンネル・ユーが倒壊してしまった場

合、町民への情報発信ができなくなることを案じていること。

○町の動きや、町民の活動等を放映するチャンネル・ユーのCATVや音声放送は、まちづくりに必要であること。

○公民館としては、情報発信の容易化や施設利用者の増加、企画のタイアップ、インターネット環境の充実などのメリットがあること。
○チャンネル・ユーを併設しても、公民館のスペースは確保できるということ。

○チャンネル・ユー部分の建設費はチャンネル・ユーが払うということ。

以上の理由で、建設委員会では、チャンネル・ユーの併設に賛成の方向を出し、町でもこの結果を真摯に受け止めチャンネル・ユーを併設していく方向です。

なお、改築整備計画の全貌は町のホームページでご覧いただけます。

今後の予定

平成25年度に入り、策定をみた整備計画を基本とし、設計業務へと進めてまいります。

まつかわ大学

第8期生募集

多彩な講師を招き、楽しみながら一緒に学んでみませんか!

講座1 6月29日(土)

「大丈夫だよ、がんばろう！」

講師：山田邦子氏
(タレント・司会)
時間：13:15~15:00

講座2 9月28日(土)

「仕事は楽しく、自分に
限界をつくらない」

講師：三浦由紀江氏
(駅弁販売のカリスマ)
時間：13:30~15:00

講座3 11月16日(土)

「旅に出て、世界中の人と
笑い合おう！」

講師：たかのてるこ氏
(旅人・エッセイスト)
時間：13:30~15:00

講座4 2月22日(土)

「だまされる心の心理学」
～信州大学出前講座～

講師：菊池 聡氏
(信州大学人文学部准教授)
時間：13:30~15:00

- 入学金……年間1,500円(ただし、受講登録は町民のみとなります)
- 締切 5月10日(金)
- お問い合わせ先 中央公民館 電話36-2622

受講者募集

弓道教室

近年、生涯スポーツとして愛好者が増えています。『礼』に始まる武道に親しんでみませんか。

主催/松川町弓友会、松川町教委、松川町中央公民館

日程/5月10日(金)からの
毎週月・金曜(全20回)
午後7時~2時間ほど

会場/松川町弓道場

料金/スポーツ保険加入代

申込締切/5月7日(火)

問合せ/☎36-2622

松川町中央公民館





春スポーツ

松川町男女別

ダブルスバドミントン大会

3月10日、町民体育館にて

松川町男女別ダブルスバドミントン大会が行われました。

結果は次のとおりです。

男子の部 Aブロック

優勝 蟹沢 尚紀

下島 大明 (福与B.C)

準優勝 林 元彦

松田 晃樹 (福与B.C)

第3位 木村 壮一

小林 功 (体協B.C)

男子の部 Bブロック

優勝 松下 東宜

北林 大輝 (福与B.C)

準優勝 二村 和久

林 宗広 (ジョイフルB.C)

第3位 大澤 創

知久 芳樹 (上片桐B.C)

男子の部 Cブロック

優勝 小野川 幸洋

米山 正彦 (名中B.C)

準優勝 北島 義雄

小林 駿 (上片桐B.C)

第3位 大久保 昌宏

山田 寿明 (上片桐B.C)

女子の部 Aブロック

優勝 丸山 さなえ

林 加菜子 (ジョイフルB.C)

準優勝 林 暁

下島 史 (福与B.C)

第3位 清水 菜芳

代田 江里香 (福与B.C)

女子の部 Bブロック

優勝 宮下 春花

山内 風音 (松川町J.B.C)

準優勝 福島 めぐみ

坂本 紅音 (福与B.C)

第3位 桑澤 優里

吉川 友菜 (松川町J.B.C)

女子の部 Cブロック

優勝 小林 春美

北林 利美 (体協B.C)

準優勝 横田 幸子

林 美奈子 (上片桐B.C)

第3位 山岸 佐貴子

山岸 蘭 (上片桐B.C)



生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

(その十九)

冬鳥観察会

春、南の地方からやってきて子育てをしながら元気に暮らしていたツバメやオオルリなどの夏鳥たちは、秋の訪れを感じる10月になると、再び暖かい地方へ帰っていきます。

すると、今度は寒い地方からツグミやジョウビタキなど冬鳥がやってきて、私たちを楽しませてくれます。そこで、青年の家では1月6日に「冬鳥の観察会」を開き、野原の鳥たちを観察してもらいました。

「ウン」に出会いました

出発して間もなく、どこからともなく「ヒー ヒー ヒー」と、口笛を吹くような声で鳴き合っている10羽ぐらいの鳥の群れに出会いました。声でする方角を一生懸命探すのですが、鳥の姿はなかなか見つかりません。しばらくすると1羽が突然藪から出て、枝にとまりました。のどの部分がピンクで体全体が青っぽい「ウン」です。だんだん目が慣れてくるにしたがい、藪

の中で木の実や木の芽などをつついている姿が見えました。そうです。この鳥は桜の観光地から「桜のつぼみをついてしまう困った鳥」としてよく知られている鳥なのです。長い時間近くにくれてくれたので、参加された皆さんは双眼鏡や望遠鏡を使ってピンク色をしたのどを楽しむことができました。



ウン「日本の野鳥」山と警告者より

ピンクの鳥「ベニマシコ」

少し歩いて行くと、今度は「ヒツ ヒツ ヒツ」と短い声で鳴く鳥が出現しました。藪の中から突き出た枝にとまっているのが見えたので、望遠鏡を使って順番にのぞいてもらいました。口々に「わあー赤い鳥だ。きれい。」とか「かわいい。」と言って喜んで見えていました。この鳥は「ベニマシコ」という名前で、全身のピンク

が目立つ鳥ですが、藪の中の生活が多いので、会うことは少ない鳥です。でも、その代り1回見れば忘れることができないきれいな鳥です。

冬鳥の代表「ツグミ」

リング畑では地面をちよんちよんと歩き回っているツグミに出会いました。参加された皆さんは「胸に点々があるね。」とか「ヒヨドリみたい」と言いながら、双眼鏡をのぞいていました。「これが冬鳥の代表ツグミだよ。」と話してあげると、「ふーんこれがツグミか」と納得した様子でした。そのあと杉の板を使って巣箱を作り、家に持ち帰ってどこかに取り付けてもらうことにしました。もうすぐその箱にシジュウカラが卵を産んでくれることでしょう。



ツグミ

なまかな

20周年の写真集が好評 まつかわ写真教室



月に1度それぞれが写真を持ち寄って指導を受ける

昨年度、発足20周年を迎えたまつかわ写真教室。今年3月に20周年を記念した写真集が完成し、話題を集めています。

公民館写真教室から始まったまつかわ写真教室は、現在会員22名。町内のみなさんをはじめ、飯田、高森、中川などからも会員が集まり活動しています。講師で写真家の佐藤信一さんの指導のもと、「作品」として残していく写真の撮り方を学びながら写真を撮楽しんでいきます。佐藤さんの指

導は具体的に厳しい指摘も多々ありますが、それもみな会員の技術の向上のため。会員のみなさんもそれをわかっているの、素直に聞き入れてその後チャレンジします。今回完成した写真集は会員の皆さんが撮りためた松川町と伊那谷の春夏秋冬の風景をおさめたものです。販売はしていませんが、図書館などで見ることが出来ます。



短歌

黒田人形

矢澤 芳子(大 栢)

浄瑠璃に合せ人形操れる中学生に拍手と「花」とぶ

秋明菊・しおん・穂芒を花瓶にさし夫と寄り見る今宵は満月

講習所から工業校と変りたる学舎は世相の波にゆれる

八十の坂登りきれず一休み家族の支えに初春迎う

抗がんの治療に光求む吾二人の孫には希望の年なり

俳句

米山 護(中央二)

生物の様に走れり芋の露

秋立てりユトリ口の壁淡き染

花カンナ昨夜見し夢色をもつ

キャンパスの前に初冬の虹を見る

独り乗るエレベーターに冬の蠅

春立つや少年像の深えくぼ



こどもソフトテニス入門教室を開きます

5月26日(日)(5月最後の日曜日) 9:30~11:30

対象 小・中学生及び指導法を教わりたい大人の方

会場 松川町運動公園テニスコート(雨天:室内会場に変更)

主催 松川町少年少女体操・スポーツ総合クラブ

参加費 こども一人150円(傷害保険料、連絡費、ボール・ラケット) ボールとラケットは貸し出しです。

申し込み締め切り 5月20日(月) 申込・問合せ先 電話・FAX 36-5728 川又 一郎

ゴムボールと軽いラケットで、一日で試合もできる!

Aの形をした特徴のある松川大橋の袂に、新しく信号機が設置されました。松川町を南北に走る広域農道のため時間帯によっては交通量も多く、橋に向かつて緩やかな坂になつています。そのため、加速する車も多く、渡ろうと思つてもタイミングを逃すとなかなか渡る事ができませんでした。更に右折専用レーンも

すぽと 信号機が見守る 地域の安全

とができるようになりました。赤信号の数秒間、大切な人思い浮かべる事で地域の安全が守られるかもしれません。

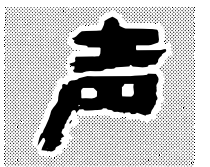


新しく信号機が付いた松川大橋南の交差点



まちの石仏 ②4「へび神様」(名子蓮台)

養蚕地帯でネズミの害がなくなることを願って立てられたへび神様。



新社会人に 聞きました

「4月」新年度、町内に社会人としてスタートを切った方たちに質問をしてみました。

- ① 社会人になっての感想
- ② 学生時代との違いは？
- ③ リフレッシュの仕方は？
- ④ 学生時代と違った休日の過ごし方は？
- ⑤ 始めてみたい事、身につけたい事
- ⑥ 初任給の使い道は？
- ⑦ 家族、知人からのアドバイス
- ⑧ これからの抱負



後沢 美香さん (テラー)

① 不安もありますが、社会人の仲間入りができて嬉しく思っています。

② 運動ができるようになり、学生の頃と違い色々な所へ自由に行けるようになりました。

③ 私は買い物が好きなので、ショッピングをしたり、仲の良い友達と遊んだりして気分転換をしています。

④ 学生の頃は近場しか遊びに行きませんでしたがこれからはいろんな所をドライブ

して回ってみたいです。
⑤ 一人暮らしをしてみたいです。
⑥ 自分へのプレゼントを何か買いたいです。
⑦ 周りからは応援の言葉を沢山もらいました。分からない事があつたら聞いて覚えたいです。

⑧ これからは沢山覚えていく事があると思うので一生懸命頑張っていきたいです。社会人として日々成長していきたいと思うのでよろしくお願いします。

④ 車の免許をとったので、ドライブに行きたい。
⑤ いろんな資格をとりたいたいと思っています。

⑥ まだ決めていません。
⑦ 職場の人に迷惑をかけないようにすること。上司や先輩の言うことを聞くこと。

⑧ まだまだ未熟で、自分自身も不安な面も多いですが、一日も早く仕事に慣れて、自信がもてるようにがんばりたいです。



大沢 雅さん (販売員)

① 不安な気持ちが多いけど、がんばりたいと思う。
② 今までは親に任せていたことを自分でできるようになったこと。

③ 高校時代に弓道をしていたので弓道をしてリフレッシュすることです。または、同期と食事に行くこと。

④ 車の免許をとったので、ドライブに行きたい。
⑤ いろんな資格をとりたいたいと思っています。

おまかせ

「今年の花粉は3〜5倍」今までなかった人も花粉症に！こんなフリーズをテレビやニュースでみかけます。私の周りでも今年から花粉症になった人が何人もいます。花粉症とは長い付き合いの私からすると、この苦しみを共有できる仲間が増えてなんだか嬉しい気持ち。

数年前、花粉症にヨーグルトが効くと聞き、毎日朝昼晩と主食のようにヨーグルトを食べ続けたことがありました。その効果なのか、なんとその年は花粉症にならなかったのです！これで長い呪縛から解放されると舞い上がっていました。悪影響か…。家族から私の体からヨーグルトのにおいがする(いいにおいではない様子)と言われるように…。すぐにヨーグルトの量を減らしたらおいはなくなりました。体にいい食べ物でも摂り過ぎはよくなかったと当時の自分を思い出しながら、来年こそは花粉症の予防接種をする決意したところです。

巻井 美幸

公民館報
「まつかわ」
第 594 号
平成25年 4月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)